

改修による耐震性能向上と 外観イメージの刷新

「地震列島」と言われる日本。年初の能登半島地震の記憶も生々しいが、人的被害を最小限に抑えるためにも、建物の耐震化は必須となる。しかしその一方で、耐震化を施した場合、武骨なブレースが露出するなど、意匠面での犠牲を伴うケースは少なくない。

ここでは、耐震改修により地震に対する安全性を確保すると同時に、外観の意匠についても刷新し、イメージ向上を図ったビルの事例について詳しくレポートする。

編集部

第5電波ビル 耐震改修工事について

秋葉原中央通りに面した
商業ビルの耐震改修の事例

(有)共同設計・五月社一級建築士事務所
代表取締役

三木 剛

— 36 —